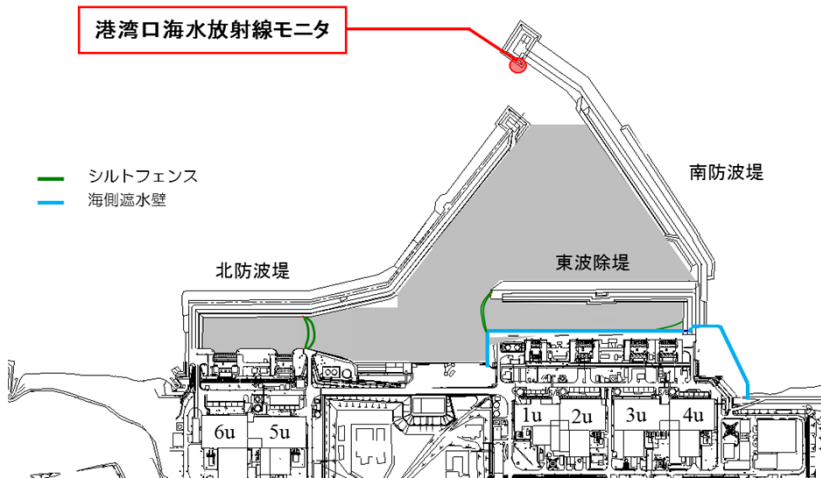
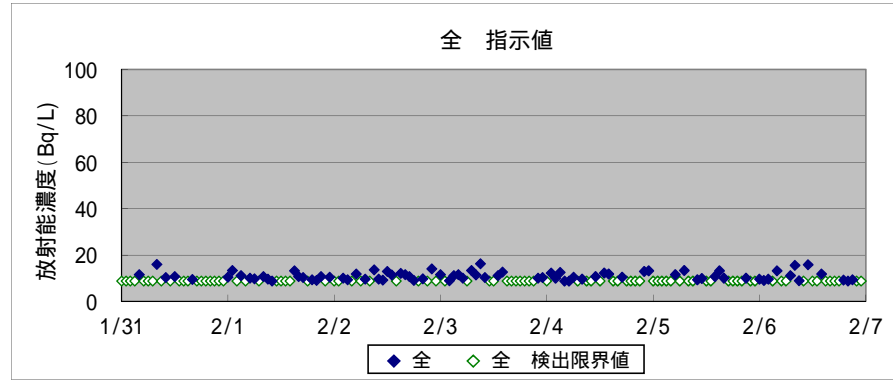
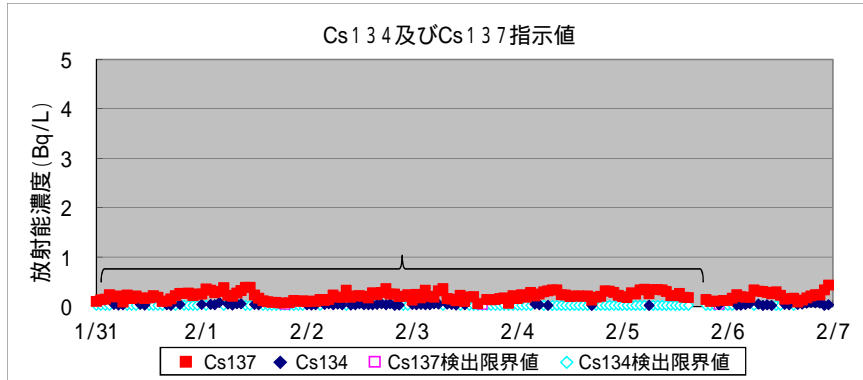


港湾口海水放射線モニタ指示値 (2016年1月31日 ~ 2016年2月6日 分)



(単位: Bq/L)

日時	全	Cs134	Cs137
2016/2/6 0:00	9.6	ND	0.13
2016/2/6 1:00	9.0	ND	0.17
2016/2/6 2:00	9.6	0.03	0.24
2016/2/6 3:00	ND	0.03	0.20
2016/2/6 4:00	13.2	0.05	0.19
2016/2/6 5:00	ND	0.06	0.19
2016/2/6 6:00	ND	ND	0.34
2016/2/6 7:00	11.2	0.05	0.31
2016/2/6 8:00	15.6	0.03	0.30
2016/2/6 9:00	8.9	0.04	0.29
2016/2/6 10:00	ND	0.03	0.26
2016/2/6 11:00	15.9	ND	0.30
2016/2/6 12:00	ND	ND	0.23
2016/2/6 13:00	ND	0.05	0.15
2016/2/6 14:00	11.8	0.04	0.16
2016/2/6 15:00	ND	ND	0.17
2016/2/6 16:00	ND	0.05	0.09
2016/2/6 17:00	ND	0.05	0.13
2016/2/6 18:00	ND	0.07	0.17
2016/2/6 19:00	9.2	0.08	0.21
2016/2/6 20:00	8.8	0.08	0.24
2016/2/6 21:00	9.3	0.07	0.23
2016/2/6 22:00	ND	0.03	0.34
2016/2/6 23:00	ND	0.04	0.43
平均値	11.0	0.05	0.23

NDは検出限界値未満を表す。

<備考>

(検出限界値 Bq/L)
 ・セシウム(Cs)134: 0.02
 ・セシウム(Cs)137: 0.05
 ・全 : 8.7

(注) 海水放射線モニタは、荒天により海上が荒れた場合、巻上がった海底砂の影響等により、データが変動する場合があります。
 また、線モニタについては、ストロンチウム90のモニタリングを目的としていますが、現状ストロンチウム90のみを連続測定する事は難しい為、海水中に存在する線を放出する全ての核種を測定しております。
 ストロンチウム90は、これまでの分析結果で1Bq/L以下の低いレベルとなっておりますので、全放射能の値は、通常天然核種であるカリウム40(十数Bq/L)の影響を受けております。

: 1月21日より、セシウムの測定値に検出限界値未満が見られた事から、機器の点検を実施する為、2月2日~2月5日の間、掲載を一時中断しておりました。点検および補修作業が終了したことから、2月6日より掲載を再開しております。(1月31日~2月1日の測定値は再評価後の値)

(参考)

東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度は以下の通り
 ・セシウム(Cs)134: 60 Bq/L
 ・セシウム(Cs)137: 90 Bq/L